

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



第二回『茶飲市』

十一月十一日(土)の午後、二回
目の『茶飲の市』を行いました。

今回は安心院高校の生徒も三名
参加して、販売やお茶出し等を手
伝ってくれました。また、津房小学
校の児童も学校の畑でとれたサツ
マイモを販売しました。

若林の吉野さんや五郎丸の平城さ
ん・相原さんがたくさんの手作り品
などを出店いただき、また大勢の

一般参加
者のも
と、前回
よりも
盛況で
した。
安心院高
校からも
野菜が出
品される
予定でし
たが、

時期がちょうどよくなくて、残
念でした。

今年から始めた取り組みです
が、参加者からは、「こういう催
しがあつてよかった」「二回目！
私も(参加が)二回目。次回も必
ず参加できるような元気でいま
す」「集まれることがよいことだ
すね」という声がありました。
課題としては、「野菜がもっと
あれば!」「バザーの種類がもっ
とあれば!」

また三回目は、
来春に行いたいと思
います。
野菜をつくって
お待ちください。

津房小教育文化祭

10月28日(土)「いきいき きらり 地域とふれあう文化祭」というテーマのもと、津房小学校の「第43回教育文化祭」が行われました。公民館からは、油絵教室の皆さんの力作(6点)と編み物教室の皆さんの素敵な作品4点を

を出展しました。また、「地域とのふれあい体験」として今年は「竹でっぽう」・「竹トンボ」づくりをして、遊ぶという時間も設けられました。

かつては「自分で作って遊ぶ」でしたが、現在は「買って遊ぶ」時代になっています。そんな中、児童たちは説明を聞き、一生懸命に竹を切ったり

削ったりして作品をつくり、遊びました。閉会式で大坪館長が「地域とのつながりが大事にされている」と講評されました。



避難訓練をしました

十一月二日(木) 高齢者学級の皆さんのご協力をいただき午後二時に地震によって調理室から出火という想定で、避難訓練を行いました。
※ご家庭に消火器がございましたら、有効期限のご確認を！



消防署の方に、いろいろとたくさんの質問をしました！



消火器の使い方の講習



今年も、尾立の田口憲司さんが、大菊と小菊の鉢をもってきてくださいました。かつては、安心院町内の中学校でも育てていました。手間はかかりますが、きれいに3本仕立てになるとうれしいものですね。



公民館に植えているコキアが赤く色づき始めましたが、「ん？なんとなく茶色い！」と思ったら、ナナホシテントウムシの幼虫がいくつもいました。「さては？」とコキアの中心付近を見ると、やはりアブラムシの大群がいました。

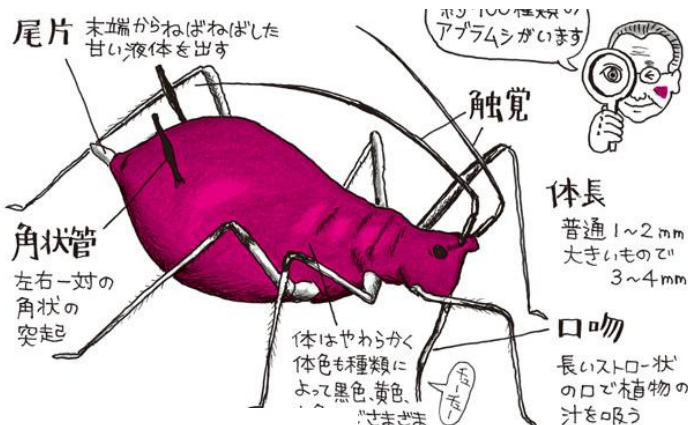
なぜわかったのかって？その秘密は…

テントウムシ(ナナホシテントウ)は親も子(幼虫)もアブラムシを食べる！

ナナホシテントウは成虫も幼虫もアブラムシを食べます。偏食と言えば偏食なのですが、それがテントウムシ。特に昆虫たちはある決まった植物しか食べないものも多いです。モンシロチョウもアブラナ科の植物を好みます。

アブラムシは植物の養分が通っている管(師管<しかん>)にストロー状の口吻を刺して汁を吸います→植物の成長がさまたげられる。

ナナホシテントウはそのアブラムシを食べるので人間にとっては役に立つ昆虫ですネ。



〈「現代農業」Web より〉

追記
コキアはアブラムシのつきやすい植物だそうで、それを見越して卵を産み付けるテントウムシもすごい能力ですね。



←コキアの茎から汁を吸うアブラムシたち

ついでに見つけた変なやつ⇒

カメムシなのはすぐわかるのですが、見たこともない模様だったので、調べたらミナミアオカメムシという普通の緑色をしたカメムシの5齢幼虫(卵からかえって4回脱皮した幼虫)ということでした。見たことあります？こんなカメちゃん。

